

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2022 助成の概要と推薦理由

助成番号 22-2-2

プロジェクト名 小児病棟でのクリニックラウンオンラインイベントの実施
団体名 認定特定非営利活動法人日本クリニックラウン協会
代表者名 河 敬世
所在地 大阪府
助成額 180万円
助成期間 2022年6月1日～2023年5月31日
設立年 2005年
URL <http://www.clinicclowns.jp/>



新型コロナウイルス感染症の影響により、未だに入院している子どもと家族には厳しい行動制限がかかっている。子どもたちは入院していても病院で催される季節のイベント行事への参加やボランティアとのコミュニケーションを通じて楽しみを見出し、社会性を育てていく。しかしこの状況下でそのような機会が失われていることは大きな課題となっている。

一方で多くの支援団体が親子で楽しめるようなオンラインイベントなどを開催しているが、必要としている人に情報が行き届いていない。最近では SNS で情報を得る親も多いため、SNS を活用した情報発信はより必要となっている。

この団体は、「すべての子どもに子ども時間を」を合言葉に、クリニックラウン（臨床道化師）を小児病棟に派遣し、入院している子どもたちが子ども本来の生きる力を取り戻し、笑顔になれる環境をつくるために、活動に取り組んでいる。

前回の助成では、コロナ禍で中止となっている季節のイベント行事をオンラインで実施することができるよう、6つのプログラム「夏祭り」「秋祭り」「ハロウィン」「クリスマス」「節分」「宝探し（常時実施可能）」を企画開発した。病棟スタッフからは“協力し合いながら実施したい”という声が多く寄せられ、次年度以降の展開に弾みをつけることができた。

今回の継続助成では、開発したプログラムを多くの病院で実施することができるよう活動の定着を目指す。またオンラインイベントで活用するグッズ（工作キット）を作成するボランティアを市民や企業にも呼びかけ、活動の理解と支援の輪を拡げていく。さらに「子ども時間案内人」という名称の広報ボランティアを募集し、長期療養の子どもとその家族を支援している団体の遊びや学びの情報を集約しながら SNS で発信していく。

本助成を通じて、オンラインイベントが継続した活動となるようノウハウを蓄積し、病院や在宅を問わず、多くの子どもたちに笑顔を届けることができるよう展開して欲しい。また長期療養の子どもとその家族を支える団体同士が、共に情報発信を試みることで、ゆるやかなネットワークが築かれることを期待する。